

いつまでも愛され続ける施設に…

◎「展示交流施設」愛称募集最優秀賞表彰式



3月31日、町長室で「鬼北町展示交流施設の愛称募集に係る最優秀賞表彰式」が行われました。

地域活性化や観光発信拠点を目的として、3月15日に開館した展示交流施設。その愛称を募集した結果、127点もの応募の中から選ばれた「アエレールきほく」の名付け親である平野宗義さん=吉波=に表彰状が贈られました。

誰かと会えるの「アエル」と、鉄道の「レール」を組み合わせた造語の「アエレール」。多くの方々に愛される施設になるようにとの、平野さんの願いが込められています。

高齢者の生きがいの場になるように

◎鬼北町シルバー人材センター設立総会



「鬼北町シルバー人材センター設立総会」は3月26日、中央公民館で行われました。

当センター(会員22人)は、高齢者の臨時的、短期的で軽易な業務の就業を通じて、自己の労働能力を活用し、自らの生きがいの充実や高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として設立されたもの。会では、県シルバー人材センター連合会事務局長の上月昌志氏から、「センターが町の高齢者の生きがいの場になってほしい」と激励の言葉が送られました。

不安と期待を胸に初登校

◎町内小中学校入学式



4月8・9日、町内小中学校の入学式が行われました。

今年度は小学校58人(近永小37人、好藤小3人、愛治小4人、三島小6人、泉小6人、日吉小2人)、中学校61人(広見中56人、日吉中5人)が入学。真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで入場してきた新1年生。先生から名前を呼ばれた児童たちの元気いっばいの声が会場中に響き渡っていました。

春の訪れを知らせる太鼓と鐘の音

◎大本神社清明祭



毎年、二十四節季の中の清明の日にあわせて執り行われている「清明祭」は4月5日、好藤地区の大本神社(内深田)で行われました。

この日、国指定重要無形民俗文化財に指定されている伊予神楽を奉納。参拝に訪れた人たちは、その厳かで、勇壮な舞に目を奪われ、会場に鳴り響く太鼓と鐘の音に春の訪れを感じていました。